

リウマチ性多発筋痛症 患者さんの情報の 研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センターリウマチ・膠原病内科では、「当科におけるリウマチ性多発筋痛症患者の治療内容に関する後ろ向き観察研究」を行うことになりました。

この研究の目的は、リウマチ性多発筋痛症の患者さんの治療結果を調べて、現状と問題点を明らかにすることです。

この研究のため、2006年1月1日より2023年3月31日までに診断した方の2026年3月31日までの診療録、検査データ、血液等の調査を行います。対象となるのはリウマチ性多発筋痛症で治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（治療内容、血液データ等）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは本研究の責任者のもので厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2025年5月

研究責任者

東京医療センター リウマチ・膠原病内科

小西 美沙子